

令和2年第3回北海道議会定例会 一般質問開催状況（経済部労働政策局雇用労政課）

開催年月日 令和2年9月23日
 質問者 日本共産党 宮川 潤 議員
 答弁者 知事、経済部長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>五 経済・産業対策について (一) 雇用対策について 1 非正規雇用について (宮川議員) 7月の労働力調査によると、非正規雇用者数が4カ月連続減少し、対前年同月比131万人減少したことが明らかとなりました。 第2次安倍政権発足後の2013年1月から20年1月を比べると、非正規労働者の増加は正規労働者の2倍近い322万人にのぼります。 本道は、全国4番目に解雇や雇止めが多く、影響は大きいと考えられますが、知事は非正規雇用の拡大が本道の雇用情勢に与えた影響をどう認識されているのか伺います。</p> <p>2 道独自の雇用対策について (宮川議員) 今定例会補正予算案には「非正規雇用労働者等緊急再就職支援事業費」が盛り込まれています。しかし、対象者は200名にとどまり、拡充していく必要があります。道独自の雇用対策をさらに進めていくべきと考えますが、知事の見解を伺います。</p>	<p>(経済部長) 雇用情勢についてであります。これまで、本道においては、生産年齢人口の減少や景気の緩やかな回復基調の下、女性や高齢者を中心に就業が進み、就業率が上昇し、パートタイマーやアルバイトなど非正規雇用労働者も増加傾向で推移してきましたが、今年に入り、感染症の影響による雇用調整の動きが見られ、直近の4～6月期では、前年同期比で、正規、非正規ともに、就業者数が減少したところでございます。 また、感染症の収束が見通せない中、本道の雇用情勢は、休業者が大幅に増加するとともに、解雇等見込みの労働者数も全国で高い水準にあるなど、今後、更に厳しさを増すことが懸念され、予断を許さない状況が続いているものと認識しております。</p> <p>(知事) 雇用対策についてであります。道内経済が感染症の長期化により、大きな影響を受ける中、雇用情勢は更に厳しさが増すことが懸念をされ、予断を許さない状況が続いていると認識をしております。 このため道では、経済団体の皆さまに対し雇用の維持などの要請や離職を余儀なくされた方々の再就職に向けた相談体制の拡充を行ってきたほか、市町村や関係機関の皆さまと連携し、来月からWebを活用した企業説明会を地域単位で順次開催することとしております。 また、これらに加え、非正規労働者の迅速な再就職に向けた研修や人手不足が深刻な業種への労働移動の支援に新たに取り組むこととしており、引き続き、道民の皆様の雇用の安定に向け、雇用情勢の変化を適時、的確に把握しながら、必要な取組を進めてまいります。</p>